

(広野町109名、富岡町50名、楡葉町44名、いわき市67名、川内村12名)

- 23:48 総括班経由で官邸リエゾンからのFAXを收受。内容は、
- ・今晚中に1F10km圏内の残存者について移動を目指し、自衛隊がバス移送中。
  - ・20km圏内の住民の移送については、自衛隊がヘリにて移送予定。
  - ・健全者はバスにて移動予定。分担は国交省バス50台。運転手は警察25名、防衛25名。
- これらについて、経産省はポケット線量計の確保が担当する旨連絡があったが、実際の動きは総括班が対応。

3月14日

- 2:00 OFC 医療班 とみなが氏から TEL。川俣町体育館にて双葉町民のスクリーニングを実施。
- 川俣町体育館は、電気、水道、固定電話は使用可能。自衛隊のシャワー車があるが、着替えがないから、本格的な除洗ができず。ほとんどの住民が被ばくしているとの連絡があり。(6kcpm以上で、10~20kcpm程度とのこと。)
- 5:30 官邸リエゾンより1F20km圏内の要救助者避難状況及び避難先(3/14 5:00現在)についてFAXにて連絡有り。
- 10km圏内に計255人。20km圏内では615人。
- 要救助者については、相双保健所にてスクリーニングをしてから各施設へ搬送。
- 8:10 OFC高田班長へ 南相馬市小高区の件 → 県の災対本部 住民安全班へ依頼。7人避難できない(車小さい) [REDACTED]
- 11:36 爆発対応 20km内 移動中 ← 速やかに移動
- 現地応援用の多彩と検査官事務所要員派遣検討は、前川防災課長預かり
- 12:40 [REDACTED]「しばらく屋内退避した方がよいとの原安委助言」を伝える。
- 13:05 県 [REDACTED]「輸送継続している」→原安委の助言を再度伝える。
- 13:40 [REDACTED]宛FAX(住民避難についての助言)
- 13:48 県 [REDACTED]「継続へ判断」県救援班
- なら、搬送状況を教えてくれ
- 情報確認するので
- 15:10 20km圏内に残られている住民の避難の考え方を整理し、官邸に送付
- 20:57 住民避難の状況についてOFCタケダ氏から聞き取り
- 要援護者のうち、ドーヴィル双葉の100名、双葉病院80名のうち33名が相双保健所に到着、スクリーニングを終了し、いわき向陽高校に移動中。

## ERC 住民安全班対応状況 (未定稿)

ERC 住民安全班作成

3月15日(火)

- 4:40 4:30をもって本日(今晚)のバス輸送を終了との連絡有り。  
警察庁から国交省リエゾンにバスを返却したい旨連絡。
- 5:00 相双保健所を4:00頃那須甲子青少年自然の家に移動したとの連絡。  
職員5名。入所者27名計32名。  
第2陣として6:00~7:00頃の出発を予定。
- 7:55 那須甲子青少年自然の家に確認、2便は到着していない。どういう構成で来るのかも分からない。
- 7:55 県に確認。各市町村職員 20km 圏外へ全て出ているとの認識だが、各市町村に確認して連絡が来る予定。
- 8:30 1F半径30kmに拡大(総理指示の可能性あり)(別の担当者のメモでは8:40と記録)
- 8:50 県 避難安全班 儀同さんに上記総理指示連絡
- 8:55 いわき市連絡済み
- 9:05 住民安全班サイトウ 双葉病院 正確な数は分からないが59名双葉病院に残っている。現在自衛隊に輸送依頼中と理解してる。
- 9:15 那須甲子(青少年自然の家) [REDACTED] 警察バス4台/マイクロ1台到着。1班目が208名ではないかと言っている。
- 9:20 屋内退避の可能性も議論されている。→ 9:30 県 儀同さんへ連絡
- 9:45 光洋 双葉病院(120)2ヶ所、現段階(80)2ヶ所
- 9:50 プラント班 1F4原子炉建屋4Fで火災発生  
・中に退去している分には汚染小。被ばくりスク。北側に向かえばブルームが行く可能性は少ない。
- 10:00 OFC確認 自衛隊が作業中である。住民安全班が立会、進捗不明、終了後報告
- 10:40 OFC確認 OFCが現地に行った。隊員20名到着、今後も来る可能性あり。作業はこれから。車で実施。もう一回行くときに作業見込みを確認。
- 10:45 20km~30km 屋内退避 決まり、未公表
- 10:45 避難対象者(避難所、バス、救護所(スクリーニング)ヨウ素剤・除染)←23万人分
- 11:00 OFC県庁へ移転
- 11:00 総理指示  
1F20~30km 圏内屋内退避
- 11:20 官邸リエゾンから聞き取り。双葉病院全体97名程度。うち、半数程度乗車見込み。行き先は「いわき光洋高校」(自衛隊5台、大型バス2台、その他1台 計8台)
- 11:22 官邸避難所人数・人口数等を報告

- 11:40 地方自治体への通知状況  
 《済》・福島県(大内)(11:25 県 儀同さん連絡済み)  
 ・富岡町(堀田)  
 ・大熊町(おきさと)  
 ・双葉町(大内)(11:35 双葉連絡済み)  
 ・楡葉町(堀田)  
 ・広野町(松下)  
 ・いわき市(玉木)(11:25 いわき市災対本部 クサノ氏伝達済み)  
 ・川内村(嶋崎・富岡町経由)(11:40 連絡済み)  
 ・田村市(佐久間・メモ伝達)  
 《未》・浪江町、南相馬市、葛尾村、飯館村
- 11:50 自治体への通知状況を ERC 内に報告
- 12:15 福島県知事から内閣府へ入電。政府福島現地泉本部長。  
 30km 圏内避難の要望。
- 12:40 川内・南相馬(防災無線)・飯館(NTT)OK 浪江・葛尾は×
- 12:50 川内村、南相馬市、飯館村は福島県から連絡済。浪江、葛尾村は連絡取れず。
- 12:50 田村市20km 圏内、家畜世話の方28名残留。(14日 AM 現在)
- 12:55 双葉町長から依頼(ERC 住民安全班長へ)  
 双葉町民(3,500人)が川俣町に避難中。バスを用意して飯坂温泉まで運んで欲しい。
- 12:55 (国交省)福島県から浪江町から30km 圏外への避難希望  
 国へはバスの手配50台など希望
- 13:00 官邸覚道さん、栃木、茨城県から避難受け入れ施設、リリースの可否の問い合わせ有り。
- 13:05 オンフル双葉受け入れ先、「那須果子の家」から連絡。  
 途中病院に行った人あり。19名から変更する。連絡待ち。
- 13:15 47名双葉病院出発→光洋高校。49名不明(官邸リエゾンより)
- 13:15 郡山中央交通から。浪江町役場から住民移動手配要請あり。  
 バスの手配、燃料、除染等要望。
- 13:15 福島県に上記件(13:00のリリースの件)連絡。回答待ち
- 13:20 在日米軍に住民の移送の可否を確認。受け入れ先は米軍基地?同じく確認。
- 13:40 官邸ハタダさん。官邸主導で各省に話。  
 30km 外への避難。(移送手段、移送先)  
 除染(スクリーニング)などの対応方針の作成を希望。
- 13:45 双葉、49名屋内退避状態。自衛隊被ばく限界(1mSv/h)超過の為交替中。
- 13:45 総括班サエキさん。20~30km 圏内。避難する方向でスクリーニングを考えて欲しい。
- 13:50 上記の件を医療班に連絡済。
- 14:00 官邸カネコさんから指示。屋内退避の注意点について、関係者でチームを作って周

知方法まで考えて欲しい。→原安委に振って回答待ち。

- 14:25 (12:15分の要望の件) 県の担当は要望につき知らない。確認中  
時刻不明 (上記を踏まえ) 内閣府で食料・水は対応可。  
スクリーニング、受け入れは無理。
- 14:40 危機管理監へ要望(20~30km内に滞在している方(最大14万人)への対応)  
・受け入れ先、移動手段  
・スクリーニングポイント  
・避難者生活物資  
・傷病者等に対する医療体制  
・避難住民に対する対応を行う人
- 14:45 茨城県、福島からの避難住民200名が来ている。他の避難住民と思っている。  
→土浦霞ヶ浦、●●●●体育館に移動させたい。  
1000人分の物資、お世話人欲しい。→リエゾンが内閣府に確認中。
- 15:05 オンフル双葉から那須果子青少年自然の家に175名到着(職員34名、入居者  
141名)途中病院搬送された人数は確認中。  
→その後、途中搬送は3名と把握。それぞれ、福島県立医大、二本松●●記念病院、  
南相馬オノダ病院
- 15:15 官邸から連絡有り。関係省庁による会議(危機管理監からの指示)避難住民の注意  
点をわかりやすく広報するための物、住民安全班と広報班が対応。
- 15:20 公明党井上義久幹事長秘書大塚氏より連絡。広野町の高野病院(20~30km圏  
内)に患者が残留。人数は不明。道路無く孤立状態。救出の依頼。→OFC住民班  
に連絡済み。→16:12返事あり。広野町と対応検討中。→その後、屋内退避の  
方針となった。
- 15:25 官邸ハタダさんから連絡。双葉町の移動断る。浪江町についてはバスはあるが受入  
が未定。
- 15:40 生越課長から国交省がバスを依頼するにあたり、20~30km圏内の安全性・ス  
クリーニングなどについて考え方を整理して欲しい。浦野さん対応中。
- 15:40 [REDACTED]氏南相馬市在住の両親が避難していないと連絡。対応検討中。→  
相馬市に自主避難中。→17:20に無事到着。
- 16:15 県知事から総理への要望書受信
- 16:25 福島県から避難への支援について、物資リストを受信。
- 16:30 生越さんから連絡。20~30kmの間がスクリーニング不要と考えるならば説明  
したい。そうすればバスが動かせる。→医療班と相談を開始。
- 16:45 茨城県から連絡(クロサワ:[REDACTED])  
福島からの避難者についてとりあえず、物資とお世話を国に要求。  
→物資は内閣府に依頼済み。お世話は厚労省に依頼済み。  
内閣府:[REDACTED](物資調整班)  
厚労省:[REDACTED](クニミツ)→今後は、東電を紹介。東電対策  
本部 高橋 [REDACTED]

- 17:00 官邸リエゾン カクドウさんに問い合わせ。茨城県内避難所リスト。  
片山課長→金子室長 茨城県内に入った方のスクリーニングどうなっている？
- 17:30 エネ庁立地対策室杉本室長から、双葉町長の件、相談あり。
- 17:50 福島県20~30kmは、国としての屋内退避という指示なので、それ以外の対応せず。
- 18:20 南相馬市■■■さんから入電。13kmのところ息子が取り残されている。→OFCで対応中。広報班に息子から連絡がとれたと連絡あり。
- 19:20 エネ庁電力市場整備課サコダ・カワハラから連絡あり。福島県民の県外避難先について、情報共有してほしい。  
(避難先は計画停電エリアから外したいとの心。土浦市については連絡済。)
- 21:05 サービス産業課に屋内退避区域に対するケア+物資調達の県を相談(実際の配達は民間に頼むことが困難)
- 21:15 官邸中富から入電。茨城・栃木の件、状況を報告。→覚道 or 中富に。
- 21:20 サービス課藤木課長から児嶋課長に連絡。「商流Gとして物資は協力する。他方、その他サービスも検討するので相談して欲しい」とのこと。
- 22:00 エネ庁へ、双葉町から入電。住民は、パニック状態から落ち着いた。今は移動しなくても良いと思っている。お風呂4台が欲しい。また川内村からガソリンの要望があり。→商流Gに連絡済。
- 22:15 生越さんから入電。方針は了解。次第にOFCに移してもよい。
- 時間不明 OFC移転して、セッティング順調。避難状況の確認等について、OFCとのやりとりで。  
→順次件との調整はOFC経由で!
- 23:30 県総括班(トシロ氏)にFAXにて送付のあった「避難住民への支援について」県の方針を確認中。

### 3月16日(水)

- 0:20 県アラタケさんより連絡あり。両町長(富岡町5000人、川内村1000人)から、20~30km圏内から30kmより外に避難したい。  
それにあたって、物資、避難先、移動手段(要介護者あり)等をお願いしたい。  
県では対応困難。
- 0:59 20km圏内に取り残されている住民情報あり。詳細不明。内閣府に情報記載のFAX依頼。
- 1:24 ■■■氏 日が明けてから警察の協力の下移動するとOFCから連絡あり。  
原町(南相馬市)に取り残されている住民がいる模様。OFCに事実関係の確認を依頼。(対応方針も併せて依頼)
- 1:49 福島県対策本部総括班佐藤氏  
○3/15 15:59付FAX「避難住民への支援について(回答)」の内容については、県外移動に際しての必要物資のリストではなく、現状、県内の避難所で足りずに困っている物資のリストである。

○20~30km圏内の住民14万人という数字があるが、14万人すべてが県外移動とは限らない。そもそも、多めに見積もった数字であり根拠があるものではない。

○市町村の対策本部が機能せず住民情報が入ってこない中で、県外移動の人数を教えろと言われても、人によっては、今のまま避難所に残りたいのか、移りたいのか、自主的にどこかへ避難するのか様々。また、現在自宅の人がどうしようとしているのか把握できないので、県外移動者の人数を把握しようがない。

○従って、県外移動にかかる物資数をはじき出すことは無理。

○県としては、既に県外に避難している方や双葉町等の個別に県外に避難したい方への支援については、知事会を通じて依頼をしている。これについては、国の支援をお願いしたいと考えている。例えば、スクリーニングはどこで行われるのか、その情報の避難所、住民への伝達方法など。

6:00 OFCカイ氏から佐伯氏へ。要介護者が搬送後、12名亡くなった。現在、要介護者で病院等しかるべき施設に搬送されずに何名残っているか確認せよ。

(医療班と協力)

6:30 商流ヤスイ氏より入電。福島県作成の「避難住民への支援について(回答)」のリストの内容が字がつぶれて見えない。

6:35 上記連絡を受け、福島県総括班(オオツキ氏)に電子ファイルで送付するよう依頼済。( )

→10:20商流へ済み。

7:25 県オオツキ氏(+生越課長+OFC)に「20~30の対応方針」をFAX送付。内容確認を依頼。(7:45 オオツキ氏からFAX到着の旨、連絡)

7:50 県ニイダ氏より。

避難所での病気の方について聞き取り。いわき光洋高校に53名いるとのこと。県内の受け入れは困難で他県で受け入れて欲しいとのこと。精神科の患者及び寝たきりの人間も多数

8:15 県アラタケ氏から連絡。南相馬市原町区の避難者3000名について、新潟へのバス手配を依頼。(南相馬市から新潟県(内藤氏)へ受け入れ先は調整済)

→・国も手配を努力するが、県にも努力を要請

・スクリーニングは県とOFCで実施を要請

上記2点は連絡済。

8:30 県ウエノ氏より。

患者はスクリーニング・除染済み。

53名の他に「伊達ふれあいセンター」に47名、「二本柳共生センター」に35名追加対応が必要。(いずれも除染済み。)計135名。医療班を通じ、搬送先及び現地への医者派遣の検討依頼。

9:45 国交省政務官

給油のためのタンクローリーを用意したい。スクリーニングポイントが必要。

現在、医療班で対応中。

- 9:50 福島県オオタメ氏から南相馬市から新潟へ移動する3000名について、正確な人数の把握が困難であり、人数が増加する可能性について連絡あり。
- 9:50 福島県(オオタケ氏)から「20~30km 県内・・・方針(案)」については基本的に了解との連絡あり。
- 10:05 官邸の7台のバス(スクリーニング必要)をキープについて、リエゾンへ連絡。
- 10:05 茨城、栃木の受け入れ可能施設のリストを再送。
- 10:10 東電へ電話  
栃木、茨城へ人の派遣を依頼。今日、明日での可能人数を確認中。
- 10:20 ・「避難所にいる人(20~30km 圏内)」は、「・・・方針」でOK。  
・20~30km 圏内の自宅待機者の対応については、別途連絡する。  
→県へ連絡
- 10:30 20~30km 圏内の自宅待機者の対応については、県へFAX。  
FAXした案は選択肢であるため、県より連絡ある予定。
- 10:35 県より南相馬市の住民状況について  
・津波で被害大  
・おそらく3000人いる。(住民数は6万だが。)
- 10:40 厚労省クニミツ氏へ福島県の人への派遣を依頼。(100名)
- 10:45 官邸タカス宛、20~30km 圏内の方針についてFAX済み。
- 11:00 官邸タカス宛、南相馬に3000人ほどいる情報を送付。バスの手配を依頼。
- 11:00 東電高橋宛、人の派遣について、新潟も含めて検討を依頼。
- 11:00 広報課に一般の方から南相馬市の避難所が孤立。  
食料、水、ガソリンがない。救助してほしい。  
→OFC住民班に南相馬市に連絡するよう依頼。  
→県が、南相馬市と連絡をとり、物資輸送されることとなった。
- 11:10 新潟県(担当:ナイトウ氏)に電話。  
南相馬市等の要望は聞いていない。場所、物資等について確認し連絡する。
- 11:10 川内村。避難所から「ピックパレット」に行きたい。
- 11:15 OFC住民安全班へ電話。  
住民の避難状況について、1Fから13kmの住民が未完了との連絡あり。自衛隊・警察を用いて避難させるよう再度強く依頼。
- 11:15 福島県警より入電。  
(国交省) 飯坂ICにバス7台がいる。飯坂ICでスクリーニングして欲しいとの要望あり。
- 11:20 OFC総括班カイ氏から入電。  
避難所に要介護者がいるため、医者を依頼中とのこと。場所を確認してOFC住民班 or 医療班より連絡くる見込み。
- 11:20 県アラタケ氏より入電。  
20~30km 圏内の方への対応方針について、FAXを確認した。基本的に同意。  
ただし、「1.」について、住民と避難者をわける必要はないのでは?  
「2.」について、ガソリンの補給を追加して欲しい。

- 11:30 飯坂ICがいいというのは福島キドウセンターで受け入れたくない。  
バス・ローリーが停まれるSAを調整するので、場所と到着時間を教えて欲しいとの要望。(県警：●●氏)
- 11:37 生越課長から浦野統括に入電。  
上記の件について、20~30km圏内のタンクローリーを特定しようとしているため調整に時間がかかる。飯坂ICにいるバスのみを先に調整するため、国交の方へ依頼。
- 11:40 上記のため、飯坂ICに待機するよう要請。
- 11:40 官邸中富より入電。  
・官邸危機管理監より、厚労省等へ約1500名の患者の受け入れ先を探すよう指示。  
・FAXにて送付した、避難者支援について確認。
- 12:12 田村市都路地区の家畜農家等の自主屋内避難28名(20km圏内)。
- 12:15 官邸カネコ氏より入電。  
南相馬市の住民避難について、バス・運転手を国交省へお願いする際に、スクリーニング地点、方針を決めてほしいと要望→医療班と検討
- 12:20 官邸中富より入電。  
南相馬の件、国交省は個別対応は無理。全体的な方針を決めて欲しい。
- 12:30 OFCに避難状況確認。  
未完了。●●氏20km圏内の他に数名残留者いる模様。(県OFCより。)
- 12:34 官邸カネコ氏より入電。  
バスについては、病人を優先させている。病人以外は後回しにすることを理解して欲しい。
- 12:35 官邸緊対室シゲトモ氏より入電あり。  
具体的なバスの台数を教えて欲しい。浪江50台と南相馬で100台くらいかと確認された。
- 12:35 県から避難方針について、再度連絡有り。  
・すべての住民が網羅されているならOK。  
・車で避難する人のため給油対策を。
- 12:40 20~30km圏内での給油は難しい。  
(現地、生越課長より)
- 12:45 総括に増員要請(防衛、消防、警察、総務、厚労)
- 13:00 県アラタケ氏より入電。  
支援方針は概ね了解。5つの自治体からの要望は外に出さないで欲しい。(要望はこれだけではないとの主旨)
- 13:15 OFCタカダ氏より入電。  
南相馬への物資について県に確認。現状は自衛隊と協議し、夕方頃に届ける方向で調整中。
- 13:15 OFCに避難状況確認。

20km圏内に菅野氏他20名程度残留。本日15:00頃から輸送することのこと。  
終了は明日予定。

- 13:15 厚労省食品安全部より、
- ・ 県内の植物から指標を超える放射能を検出
  - ・ 飲食物の摂取制限を検討して欲しい
- と要望あり前川防災課長ほかに相談(13:15は先方からのFAX送信時刻であり、覚知は14時半~45分頃と記憶)
- 14:15 県モンマ班長と相談。詳細把握しておらず、OFC非公開会合後に調整する。
- 14:30 黒木審とコヤマ原子力安全対策課長と電話。
- ・ OFCで現地の非公開会合をしていて、県救護班より発表の予定。
  - ・ これを受けて、国と県都で公表のタイミングではかりたい。
- 今後よく連絡をとるように審議官より指示。
- 14:30 県アラタケ氏より支援方針について意見あり。要修正。
- 14:40 官邸秘書官サダモリ氏より指示あり。
- ・ 死亡については県警マター。よく連絡すること。
  - ・ 必ず安危オオイシ氏へ連絡すること。
- 14:45 安危( )オオイシ氏へ連絡。
- 15:00 金融庁総務課長から問い合わせ( )
- 20~30kmの範囲内にある銀行の窓口の扱いについて、原則として、屋内に留まっていたり指示であることを説明。
- 15:05 飯坂ICのバスはスクリーング済と報告あり。  
官邸ハタダへも報告済み。
- 15:10 官邸マサキ氏より入電。  
官房副長官秘内藤より指示。
- ・ 杉並区長がバスを手配して、30km圏内へ行き戻ってきたい。
  - ・ 東京都交通局がしぶっている。
- 明日出発させるためには本日17時まで。  
→官邸マサキ氏に電話し、官邸より国交省へ指示するよう依頼した。
- 15:15 厚労省食品安全部企画情報課サクマ( )
- ERCに来ること了承  
放射線班からの情報に基づく考え
- 15:25 生越課長より  
いわき市から新潟大学へ400人の人工透析患者を搬送したい。
- 15:30 上記について、官邸へ連絡。OFCより患者の場所リストをもらう。
- 15:30 ( )先生より入電。
- ・ 避難地域を広げるときはシミュレーションを実施し、関係地活体へ連絡を。
  - ・ スクリーングについて、バスはきちんとできているようだが、高速バス、人について漏れがあるようだ。ちゃんとやるように。
- 総括ERC内へ共有。

- 15:40 官邸中富氏。人工透析患者の搬送の件については、厚労省で対応。
- 15:45 OFC住民安全班より  
20km 圏内に滞在の[REDACTED]さん他約20名の避難誘導について15時開始。  
人数が多いので明日までかかる見込み。( [REDACTED]さん地震は明日の避難予定。)
- 15:50 総括班より指示。  
16:15までに西山審議官へ搬送患者の件をレクできるようにとのこと。
- 15:50 県コヤマ課長より  
・只今、県の非公開会合終了。  
・搬送中の方の情報については、県において検討中。
- 15:50 エネ庁ウネ補佐より情報共有。  
・双葉町長より(子供+先生+家族)の1500人の移動を国と検討してほしいとの依頼あり。
- 15:55 生越課長から連絡のあったいわき市の人工透析患者400名の新潟大学への移動について、官邸の厚労リエゾン( [REDACTED] )に直接連絡するよう整理。医療班に伝達済み。
- 16:00 報道  
福島県の水道水から放射性物質検出。→総括サエキ氏より、県に確認するよう指示。
- 16:15 生越課長と電話。  
支援方針了承。県はプレスに配布。
- 16:15 県が、支援方針をプレスに配布。
- 16:20 県アラタケ氏より入電。  
・対応方針は県として了解した。(一部、抜けがあったのですぐ修正)  
・他の自治体についても国から依頼してほしい。
- 16:28 県小山課長より。死亡者は14名になったとのこと。
- 16:45 東電 [REDACTED] 氏( [REDACTED] )から連絡あり。  
世話人の件、栃木20人、茨城40人(見込み)
- 16:50 県が支援方針をプレスに配布した件については、「ERC住民班」名であったため、現地にて、「OFC名」で、再度、OFCが配布することを連絡。
- 16:55 生越課長より入電。  
県の住民避難班ギドウ氏より依頼あり。  
・3000人の避難のためのバスを確保(南相馬市→新潟)  
・7000人の避難のためのバスを確保(川内村→会津 or 南会津)
- 17:05 官邸カネコ氏より入電。  
「住民の避難方針」のうち、移動手手段の確保についてアドバイスあり。確保することが容易でないことを県に周知しておいた方がいい。(病人が現在優先なので。)
- 17:10 新潟県広報局( [REDACTED] )イマイ氏へ連絡。  
南相馬の受け入れについて確認。午前中に市長、知事で合意済み。詳細は後ほど連絡します。

- 17:25 総括片山課長より指示あり。  
「住民避難の方針」について、現地対策本部長名としての取り扱いを。  
→ERC住民班は、方針の具体化→実行
- 17:45 厚労省の植物からの放射線について打合せ実施。  
・食品の制限については、事務レベルでの参考で、制限をかけるべきとはしない。  
→今後制限をするときには連絡する。  
・原安委の助言を。  
・現地OFCに厚労の人をおいて欲しい。(防災課長)
- 17:58 官邸佐●室長より入電。  
総務省から住民安全班に人を出せないが、以下の人が調整してくれる。  
総務省サクライ様 [REDACTED]
- 18:14 原子力安全委員会緊急技術●●宛、「飲食物の摂取制限について」助言を求めた。
- 18:55 官邸カネコ氏より、消防庁と防衛省の人の調整について入電。  
消防庁 今日調整中 [REDACTED] で電話にでた人が調整可  
防衛省 明日17日より [REDACTED] 今日電話に出た人が調整可
- 19:01 福島県小山原対課長より入電。  
搬送を行った要救助者死亡の件を公表する。
- 19:20 厚労省災害救助救護対策室キタガワ氏(TEL: [REDACTED]、FAX: [REDACTED])  
災害救助法で実態上、他県への避難をすることはありえる。ただし、原子力災害であると政府として整理するには難しい。  
→23:10住民安全班の考え方をFAX済み。
- 19:25 小山課長より、20時からの会議に掛け、20:15頃公表予定→その後変更。
- 19:27 上記の件を安危へ連絡しようとしたが、連絡つかず。(30回コールしたがダメ)
- 19:28 18:14に原安委への助言を求めたことについて、助言の回答あり。  
→自家製の野菜・牛乳について制限すべき。どのように告示するか総括と検討中。
- 19:37 安危へ死亡の報道の件について、再度電話したが、不通であったため、報告できず。
- 19:41 片山課長より  
生越課長との交代の内示があり、18日に出発。
- 20:20 厚労省食品安全部のサクマ補佐へ直接原安委コハラ課長  
([REDACTED])と連絡するよう指示。
- 21:00 30km 県外のガソリンストア等で給油できるようにタンクローリーが  
手配できたかはわからない。
- 21:20 福島県ミズグチ氏 公表時間・内容再調整
- 21:30 片山課長に、「方針ペーパー」モトイキでクリア。  
OFC小山課長にも電話。
- 21:45 生越課長より入電。  
内閣官房から送付された「屋内待避の生活について」のFinal版をFAXして欲しい。

- 22:00 県アラタケ氏に電話。  
 ・「方針」の位置付け(ERCと県の共通認識)について了解  
 ・状況確認と次の作業についてFAXを送付する。→22:40FAX済み。  
 (茨城のリスト、認識がなかった。)
- 22:15 生越課長に屋内退避に係るFAX送付。(現段階のもの)
- 22:50 原安委への助言の件は、白紙撤回。
- 23:05 総括班から内閣官房作成QAのネガチェック依頼。×切5:00。
- 23:50 官邸カネコ氏より入電。  
 福島県福寿園に取り残されている報道があり、事実確認するよう指示。
- 23:50 福島県アラタケ氏より連絡。  
 ・新潟県リストが欲しい。(要介護等含む)  
 ・茨城、栃木について、要介護者等が収容できる施設が入ったリストが欲しい。
- 0:00 福寿園の件について、県OFCに確認し、官邸に連絡。

### 3月17日(木)

- 0:20 23:50の要望について、新潟県マドヤマ氏に連絡。  
 →1:15に新潟県医務薬事課タカノ氏より受け入れリスト入手(要介護等含まず)。病院等については検討依頼。
- 0:25 23:50の要望について、茨城県原対課ヤマダ氏に連絡。
- 0:45 23:50の要望について、栃木県防災消防課に連絡。
- 1:00 福寿園の件については、県との調整の結果、県が必要な物資を手当てすることとし、手当てが必要な場合は、福寿園から県直接連絡してもらうこととした。官邸カネコ氏へも連絡済み。
- 1:40 茨城県から入電。  
 県の「避難すべき」人数がそれほどいないのではないかとの情報があった。3月16日23:50と矛盾するので確認。
- 2:00 福島県から上記について聞き取り。  
 ・上記の情報は、「現在の避難所の状況」  
 ・23:50の情報は、「20~30kmの住民を全て避難させる状況」を想定とのこと。  
 また、福島県としては、「屋内退避」のエリアについても首長が自主的に避難することを止められないとのこと。
- 2:45 内閣官房のQAについて、総括班に返答。
- 2:50 県本部総括佐藤さんと連絡。→アラタケさんへの依頼再FAX(新潟リスト含む)  
 ・南相馬市:オダカ区の住民は30km外に自主的に避難し始めている。(人数等詳細不明)  
 ・富岡町、川内村:両方合わせて約6000人が自主的に会津方面に避難し始めている。(詳細不明)
- 5:30 県原対課小山氏から入電。

搬送に伴う患者の容態について、NHKに放送されたことをうけ、事実確認。いわき振興局(県出先)の職員が取材にて答えたとのこと。今後の県の方針(プレス等)について確認依頼。

- 6:05 上記の件について、再度OFCに依頼(応答要領含む)
- 7:30 柏崎市スタ氏( )より連絡。  
双葉町1200名を新潟県がJRA福島競馬場から柏崎市まで運ぶとのこと。
- 7:45 新潟県( )に上記の行き先を川俣村まで延長できないか  
連絡(オオシマさん受)  
上司と相談してみるとのこと。
- 8:22 栃木県から受け入れリストについて入電。  
・リストの施設で、既に避難者がおり、開放している施設もあり、収容人数が参考  
にしかないとのこと。→それでもよいので作成及び連絡するよう依頼。
- 8:55 福島県総括アラタケ氏に電話し、搬送リストの作成状況について確認。  
とりいそぎ、現時点での各市町村の状況を連絡するとのこと。その上で、受け入れ  
可能施設とのマッチングを県が行うので、その要望を他県へ伝えること及び運搬の  
手配を国にお願いしたいとのこと。
- 9:00 厚労省から摂取制限について、副大臣政務官が、9:30空の会議で発信したい。  
原安委の基準を用いることは、農水との間で決定した。原安委と直接話すと連絡。  
→放射線班、総括と協議。万一出すのであれば、官邸了解が必要ではないかと連絡。  
→厚労から原安委に助言を求めることは中止(撤回)する旨連絡。厚労省の基準で  
やると聞く。
- 9:11 OFC住民安全タカダ氏(県職)より連絡。  
・14名死亡の件は、県本部としてはプレスリリース予定してない。既に個別にマ  
スコミから問い合わせが多数あり、答えているためとのこと。  
・上記の件、西山審議官に報告(9:15)するとともに、県に対して、どのよう  
に説明・答弁しているのか整理指示(9:22)。
- 9:35 国交省航空局運航課クボ氏  
米国50マイル(80km)の退避指示の件→確認中と回答
- 9:38 県(OFC住民安全タカダ氏)。県で公表するよう方針が変更となったとのこと。  
時間、発表内容の事前提供依頼。
- 9:50 8:55の依頼の件について、福島県に最速の依頼はいつになるのか確認。  
どんなに早くても、第一陣の要請は本日夕。
- 9:50 福寿園に連絡。物資の不足等があるか確認。(経口剤等が足りない)
- 10:00 官邸ホリエ氏に確認。  
物資支援については、従来通り商流・内閣府(物流チーム)に連絡すること。その  
後、緊急性の高いものは自衛隊。その他のものは、国交省につながる。
- 10:00 OFCオグラ氏から入電。  
住民の退避基準について、確認後折り返しの必要あり。(米国では1レム)
- 10:00 食品の安全について、片山班長より連絡あり。

- 10:00 放射線班(OFC経由)情報。  
 撮取制限に関する緊急モニタリングの結果が全て出るのは、18時頃のとのこと。  
 →総括に報告済み。
- 10:07 県住民班サイトウ氏に連絡。福寿園からの要望が処理されているか物資班に確認依頼。
- 10:19 県住民班サイトウ氏から連絡。物資班の記録は南相馬市分として処理され、個別施設まで行っているかわからない。
- 10:21 南相馬市福寿園[REDACTED]に電話。  
 本日食料と燃料到着。1週間程度しのげるのではないかとのこと。追加の物資の要望について、対象品目をERCに連絡するよう依頼。
- 10:25 放射線班から環境放射線モニタリング計画を受領。(参考)
- 10:50 放射線班情報。今日出てくるのは雑草、水道水。
- 11:00 福島県住民安全班サトウ氏から入電。  
 県警からバス50台が福島県に向かっているとの連絡あり。国が手配したバスか？  
 →誤報であった模様。
- 11:15 NRCの件について、メモ作成。  
 3月17日11時頃、国交省航空局運航課クボ氏([REDACTED])から、米国NRCの推奨(米国居住者80マイル以遠への避難)についての照会があった。結論は、現時点で、直ちに現在の防護範囲(1F半径20~30kmの屋内退避他)を変える必要はないと考えている旨及びその説明として取りまとめの範疇で回答した。→クボ氏了解。
- 11:20 要介護者搬送の件。  
 県はプレス発表を予定とのこと。発表時間、プレス文案について県対策本部総括班モンマ氏に確認中。  
 →わかり次第、大臣及びリエゾンカネコ氏へ伝えること(片山課長指示)  
 →17:20済み。
- 11:21 官邸カネコ氏に電話。  
 福寿園坂下さんは本日飲料と燃料が着き、1週間程度しのげるのではとのこと。他に要望があれば連絡依頼済みの旨報告。
- 11:30 東電[REDACTED]氏より入電。  
 世話人を早く出したいので、県と直接連絡したい。→その方針。  
 (茨城:[REDACTED] 栃木:[REDACTED])
- 11:30 東電[REDACTED]氏に電話。  
 新潟への支援も検討依頼。新潟以外の県からも直接依頼を受けているが、その方針でよいか?→OK。
- 11:40 [11:20と同じ内容]OFCカイ氏よりFAX。  
 避難住民の死亡等に関するプレスを、本日AM実施予定で、作成中。  
 →国は、県からの情報を受けるが、プレスは行わない。
- 11:45 厚労省から食品衛生に関する通達の発出について事前連絡あり。

- 総括、放射線班に伝達済み。  
→13:30公表確認。
- 11:50 広報班金城氏から連絡。福島日報から問い合わせあり。  
災害救助法の件、県に問い合わせと回答。(厚労省との関係は昨晚のとおり)
- 12:30 福島県アラタケ氏から連絡あり。  
30km圏内住民に対して、自主避難の意向を確認し、FAXした。南相馬市と飯館村の意向に対するバスの支援とスクリーニングを国に依頼。  
・本日中に、県職員を南相馬と飯館に派遣し、移動先の確認を行う。結果は、本日中に順次報告。単位は、数百人程度(小学校区)。  
・出発点から30km圏外の集積地(自衛隊の集積地)まで自衛隊に依頼(国 and/or 県)し、そこから県境のスクリーニングポイントまで、民間バスで行き、スクリーニング後、移動先へと考えている。  
・移送の優先順位と特別対応者の有無も確認。  
県が検討中。
- 13:09 田村市に確認。避難しない方28名(3月16日時点)中、3名が本日避難予定。  
(28→25になる予定。時間は不明とのこと。)
- 13:40 エネ庁ウネ氏に電話。  
自主避難の意向の一覧表について
- 13:45 OFC住民班と福島県に自主避難意向の一枚紙と表をFAX送付。  
福島県に確認してもらっているところ。
- 14:45 警察庁スナヤマ氏から入電。  
20~30km圏内の残留者数が知りたい。  
→わかったら電話します。(内線)
- 14:50 栃木県消防防災課杉浦氏より  
3月13日に栃木県で受け入れ可能施設のリストを送付したが、それ以降自主避難して来た人たちが施設が埋まっている所もある。従って、福島県から「ここに何名」と言われても希望に応じられない状況。(3月16日堀田さんから高齢者、病人)受け入れ可能な施設はどこかという質問に対する回答。  
→15:15に県災対本部アラタケ氏に伝える。
- 15:15 県災対本部アラタケ氏より  
・新潟県と群馬県の受け入れ可能施設のリストが欲しい。  
・要介護者、高齢者用の受け入れ可能施設のリストが欲しい。←これについては、茨城、栃木、群馬、新潟より広域的(関東、甲信越)なリストになろうかと考える。
- 15:20 商流ヤスイ氏に連絡し、福島県の物資状況を確認。  
未発送とのこと。(1日2回物資の発送状況が内閣府から送られてくる模様)。  
→避難所の移動もあるが、変更無しで整理。
- 15:35 県アラタケ氏より入電。  
当初予定していた道の駅川俣には大型バスの駐車場が十分でなく、1時間半ほど離

れた松川PA(PA利用許可が必要。)を集積地及びスクリーニング地とすることを考えている。その場合、新たに自衛隊のルートを確認する必要があり、国から要請してほしい。(その場合、除染は福島医大で可。)

- 15:45 15:15の福島県からの依頼について、総務省ホリウチ氏に連絡済み。
- 15:50 OFC住民班タカダ氏から連絡有り。  
集積地の候補として、飯舘村公民館があいている模様とのこと。直接、県のアラタケ氏とOFCで適切な場所を相談してもらうよう整理。→16:15飯舘村公民館は耐震を満たしておらず不可と判明。
- 16:00 いわき光洋高校で要介護者14名死亡の件、16:00に件がプレス公表。
- 16:05 官邸から。道路局NEXCOに確認。松川PAはUターンできない場合もある。
- 16:15 避難用バスのスクリーニング証明書は福島県が出すことで了解した。
- 16:45 新潟県に、双葉町のバスについて電話したが、不在。
- 16:55 20~30圏内の病院等の自主避難について、官邸小林氏からFAX。  
医療班にてスクリーニング計画を検討し、回答することと整理。
- 17:55 新潟県広域救護班( )から聞き取り。  
①当初受け入れ予定だった双葉町民は、行き先と埼玉に変更。→エネ庁に伝達。  
②他方、南相馬市民約500名といわき市民約200名を受け入れ予定。  
・南相馬市:民間バス10台を手配し、明日(3/18)出発予定。行き先は、上越市、妙高市、糸魚川市、ピックアップ場所は、JRAふくしま競技場  
・いわき市:民間バス5台を手配し、本日出発した。受け入れるのは患者161名、2~3日で到着予定。
- 18:00 20km圏内避難指示文書の対象市町村名に誤りがある懸念を総括班(加賀さん)に伝達。
- 18:05 OFCタカダ氏から入電。  
「福島県の当面の避難支援の方針と国への協力依頼」について、確認した旨連絡あり。
- 18:15 塩川議員からのレク要求。→22日総務委を予定。  
・防災課常泉さんに相談。  
・国会T尾坂氏( )に内閣府の巻き込み依頼。
- 19:30 OFC住民安全班タカダ氏より  
南相馬市の20km圏内に滞在していた19名( )さん含む)について、本日圏外へ。避難誘導終了。
- 19:35 川俣町(30km圏外)の井戸水を分析したところ、指標の5倍のよう素が検出。
- 22:12 「福島県の当面の避難支援の方針」について、県アラタケ氏より了解を得た。  
→OFC及びリエゾンにFAX。
- 22:50 リエゾン佐藤暁さんに電話。  
内部で検討してから防衛省、自衛隊等へ依頼するとのこと。
- 23:25 リエゾン佐藤暁さんから入電。  
・要介護者、病院等が優先では?→並行してほしい。  
・バス220台をすぐには集められない?→第一陣がまず来るので、それからの話。



指揮命令系統が官邸を通じて来るようにササノ氏が調整中。結果は報告する。

- 10:45 9:30の環境モニタリングの地図について、OFC住民安全ヨシナガ氏へ電話。作業状況として40枚程度の分割になる。早急に対応を依頼した。
- 11:10 OFCタカダ氏と連絡。  
現在の20~30km圏内にいるのは移動中の富岡町、川内村を除くと、飯館村と南相馬市のみ。
- 11:14 福島県アラタケ氏から入電。  
・本日PMにも南相馬市の依頼内容を連絡出来そう。  
・午後の連絡担当者は、住民班のサイトウ氏になるとのこと。  
・南相馬の件については、窓口をOFCとはせず、このままERCとして欲しいとの要望有り。→まずはERCで受け手、流れ出したらOFCに繋ぐ。
- 11:45 厚労省から入電。  
食品の採取基準値を測定するための計測器を入手するための助成制度に関する相談があった。
- 12:00 避難区域の変更が不要なことについて想定の作成に着手。  
→院長、西山審議官クリア→官邸に。
- 13:25 官邸リエゾンと連絡し、協力依頼の状況について確認。  
リソースは限られており、要介護者等の移送がまだ終わっていない。もっと具体的な人数を把握した上で官邸に連絡し、官邸が優先順位を考えるとのこと。
- 14:00 屋内退避エリアの停電復帰の必要性について総括から相談あり。  
現在の復電エリア、東電、政府との調整の実施について確認中。
- 14:05 近ツリの件については、南相馬市の詳細が判ってから県につなぐ。
- 14:15 原安委要望事項(EOC NO.31, 32, 33周辺状況)について、OFC住民安全班より地図情報(ゼンリン2005)を入手し、原安委岡本氏に切り貼り版をデータ提供。  
→放射線班、総括班、官邸に報告済み。
- 14:20 産技局から発注。  
片山課長に方針を確認の上、16時に石川課長に回答。OFCタカダ氏には動きだけを伝達。
- 14:37 農水省畜産課サノ氏より相談。20~30kmからの避難について、家畜を連れ出すこと、除染について相談。医療班に確認し、優先して避難者を実施しており、家畜に対し行う予定はないことを回答。
- 15:10 福島県へ連絡。葉菜、牛乳のサンプリングについては明日実施予定とのこと。
- 15:45 埼玉県に電話確認。  
双葉住民は埼玉県に移動することで調整済み(約1800名)。バスは埼玉で手配とのこと。  
3月19日(土)10時第一陣(1000人)が川俣町を出発予定。以降、順次移送。
- 16:00 新潟県に電話確認。

南相馬市の約440名について、現在バス10台で新潟県に移動中。

16:25 福島県森合氏より連絡。

- ・松川PAのスクリーニングについては、「部分除染設備」で対応したい。(もし、全身除染が必要なら、県立医大へ搬送で対応。)
- ・南相馬市の搬送について、第一陣は、1000~1500名程度。バスは手配するが、松川PAでのスクリーニングについては、国の支援をお願いしたい。

片山課長から連絡(元は厚労省)

- ・厚労省でPTを立ち上げ
- ・20~30km圏内の病院での入院患者、要介護者は厚労が把握しているのは約3000人。
- ・現地の災対本部からの連絡→厚労で受け入れ先のマッチング→県警等の搬送の流れ。
- ・ボトルネックになっているのは、スクリーニング。
- ・受け入れ先は、1都7県+新潟、長野。
- ・民一民での動きは特に止めなくてもよい。

16:50 東電■■■■氏からの聞き取り。

世話人の対応状況について、埼玉、千葉など各支店で対応中。引き続きフォローを依頼。

17:00 福島県サイトウ氏に連絡。飯舘村、南相馬市の搬送について聞き取り。

- ・飯舘村は「避難所から松川PA」は自衛隊等で、「松川PA~」は、民間バスで移動したいとのこと。
- ・南相馬市は、市が手配したバスで松川PA(スクリーニング)経由で、新潟行きのため、車のスクリーニングが必要。
- ・また、スクリーニングに要する時間がかちあわないよう県でロジ調整中。医療班にも情報共有。

17:10 松川PAについて使用許諾について国交省に確認。

- ・使用そのものは問題なし。
- ・大型バスがUターンするのが困難。このため、事前に官邸を通じ準備必要有り?  
(市が手配したバスに、今から小型バスとするのは非現実的)

17:37 ネイチャーアジア特派員から避難区域の設定の考え方について問い合わせ有り。

仮に炉心溶融が起こったら、避難区域を拡大するのか。→仮定にお答えできない。コンクリートで石棺にすることは検討しないのか。→一義的には東電が検討すること。一方で、政府の官房も含めた組織もできており、官民一体となって対応しているところ。

17:40 福島県対策本部森合さんに電話確認。川内村内にいた富岡町・川内村の方はビックパレット(郡山市)等へ移動完了。(OFC住民安全班にも確認)

17:55 環境モニタリングの結果。川俣町の牛乳において基準値を超えている。食物制限、完全に官房長官で整理(関係大臣間で話している)

18:15 福島県斎藤氏からTEL有り。

- ・南相馬市も強くスクリーニング希望。また、人数は第一陣は800人。(飯舘村700人)
- 18:30 福島県森合氏からTEL有り。
- ・南相馬市の搬送について、市が手配したバスが、避難所(30km圏内)から、搬送先まで同じ車両を使用するのか確認。→その方針とのこと。だからこそスクリーニングが必要とのこと。
- 18:30 東北電力より聞き取り。避難エリアの送電状況:約3割が停電中。(3/17 14:00時点)  
ただし、避難所及び病院は全て復旧済み。屋内退避エリア内の作業ができないことが、復旧遅れの要因の一つ。
- 19:15 官邸リエゾン辻本さんより。原安委より確認要請のあった、文科省測定のポイント31, 32, 33の民家の有無等の確認について。回答したとのことであるが、文書での回答の必要性の有無も併せて確認すること。→原安委に確認する。
- 20:00 原安委へ回答、総括班、官邸リエゾンにも連絡済。
- 21:00 「避難区域の考え方」1枚紙をまとめるよう発注あり。本日中に次長から次官レク予定。官邸リエゾンからも明日朝までに整理するように指示有り。
- 21:05 県本部佐藤さんにTEL。松川PAに県職員を送ってもらうよう依頼し(少なくとも2名以上)連絡先は別途送っていただく→FAX済み。
- 21:50 経産次官から防衛、国交事務次官に依頼FAX。  
(産技局長名)→各省反発あり、実態上撤回。
- 22:05 上記リエゾン金子さんにFAX

### 3月19日(土)

- 0:10 県に連絡。飯舘村の搬送について、3月19日の搬送は、バスの確保等の観点から困難な可能性を連絡。また、県-民間のダイレクトなコンタクトについて言及するも難色。松川PAの使用許可については問題なし。(官邸を通した対応が必要)
- 0:20 官邸リエゾン金子さんからTEL。官邸幹事会の結果報告。20km~30kmの避難については、総理指示に実質的になりつつあるが、各省の抵抗強い(指示が出る方向でNISAにも話が行っていると思うが)
- 0:40 県アラタケさんよりTEL。南相馬は動かす。飯舘については、20日以降であったとしても、そのスキームで出来るように強く要望!近ツリの件は可能であればお願いしたい。  
→保安院としても議論していく。近川の件は朝にならないと連絡が取れないので、追って連絡。
- 2:00 片山課長から官房長官は20~30kmの屋内退避の考え方を変えていない。ただし、自主的に自治体が移動を希望する場合は、関係機関が協力するよう総理から指示をしてもらうよう、朝9時~12時に大臣レク。→資料セット済み。
- 2:30 農水省が20~30kmの人の資料を気にしている。OFCにつなぎかたを確認。
- 2:50 広報課よりプレス会見で回答している「最悪事象」について確認依頼(8:00ま

で) →対応不要。

- 3 : 15 片山課長に近ツリの保安院費用負担について説明するも、できない旨回答あり。
- 6 : 30 双葉病院入院患者死亡の県のその後の情報(3月17日16:00県プレス以降)を確認。14→21名と報道にあるとおり。(+2名 伊達ふれあいセンター、+5名あずま総合運動公園)  
いわき光洋高校から運んだ先の病院で亡くなっている方がいる模様であり、県が確認中(30km圏内の方の県外移動の作業のため、本件について手が回っていない模様)
- 7 : 00 農水省に20~30kmの物資供給について回答するとともに、官邸リエゾンに防衛省の窓口登録を依頼。
- 7 : 10 福島政府現地連絡対策室よりFAX。福島政府現地連絡室において、各省からのリエゾン間での情報共有を目的とした朝のブリーフィングが行われた。
- 7 : 30 原安委から自主避難について問い合わせ。  
モニタリング強化とは切り離して、生活支援対応として検討。
- 7 : 45 官邸から防衛省の窓口が届き、由良班長よりTEL。防衛省としては集積所までの物資の移送はしているが、30km圏内はよく把握していない。官邸経由でお願いしてほしいとのこと。  
[REDACTED]にTEL。官邸も福島県と調整し、集積所までしか把握していないこと。  
→児嶋班長に聞くことにした。
- 8 : 10 国交省、自主避難支援のペーパー 意見なし。
- 8 : 20 近ツりに連絡「県-近ツリ」で協力可能とのこと!
- 8 : 45 県災害対策本部アラタケさんより。飯館村のバスは県でも確保すべく検討中。  
明日以降のバスについても近ツりに協力願いたい。
- 10 : 00 南相馬市、飯館村の自主避難支援について(3月19日10:00現在 田辺)
- 11 : 00 OFCに連絡。飯館村において、局所的に空間線量が高いモニカーポイントについて、行政区画として屋内退避を行っているか確認。(浪江町は原則全村避難済)  
飯館村については、当該モニカポイントは、特段の措置をとっていない地域であることを確認。
- 11 : 00 官邸金子リエゾン。  
19日4:00付け「自主避難支援」のペーパーは差し戻し(松川PAの件も含め)  
理由は、  
① 経緯(昨日の次官・局長オペ)  
② 形式(要請ルートは保安院からではなく、現地災害対策本部(県・OFC)から官邸の災害対策本部へ上がるべき。
- 11 : 10 OFCタカダさんに再度連絡。蕨平が30km内に入り、長沼は空家1件のみ。区長から屋内退避の連絡をしたとのこと(蕨平で約30家屋)。現在行おうとしている自主避難は、長沼と蕨平がメインで、他は希望者で構成されている。
- 12 : 00 総括小泉さんから自主避難支援についての災害対策本部のペーパーについて、広く公表するのではなく、問われたら答えるとの扱い。

- 12:03 浪江町本部(二本松市東和支所)に聞き取り。町においては浪江町津島地区において、屋内退避を継続していると認識しているが、町役場自体移動したこともあり、詳細は不明とのこと。
- 12:10 原安委より、「避難区域の設定に係る考え方」の参考として用いた、原安委のペーパー(18日19:00)が古いとの連絡有り。ペーパーの取り扱いを教えて欲しいとのこと。  
→ペーパーは内部説明用で外に出るものではない旨説明。併せて最新版の資料も依頼。
- 13:00 総括土井課長から自主避難支援のポンチ絵。
- 13:30 サワタニ食糧安全課長から、20~30km圏内への食糧供給について保安院でしっかりやるように。  
→福島県と自衛隊で対応中と回答。
- 13:50 児嶋課長から、福島県に行っている国交省のタダさんに連絡。松川PAの件は、現地(福島県、OFC)からの要請であることを、タダさんから自動車交通局に伝達。実態上、使用を容認といった感じの終わり方。その旨は、国交省防災センター三島さん( )にも連絡、確認。
- 14:00 県災害対策本部佐藤さんに連絡。  
・国交省松川PAの使用については基本的に了解。  
・近ツリと県が相互に連絡し、対応されたい。  
・緊急車両登録についても県が対応されたい。  
→以上3点について、近ツリ( )さんにも伝達( )
- 14:20 産技 能村さんから、児嶋課長に対して現地からの支援要請が上がってくる段取りを整えた。
- 16:55 製造局カワウチさんより、防災資機材について入電。  
特に製造局で扱う物資は納入するのに期間がかかるので、現状の窓口やスキームを教えて欲しい。  
→総括加賀班長へ依頼。
- 17:00 福島県清野氏にTEL  
スクリーニング現場は混乱なし。部分除染は数名いたが、全身はなし。
- 17:55 福島県佐藤氏に連絡。スクリーニング結果を聴取。  
・南相馬市268名(うち、数名は部分除染を実施)  
・飯館村316名(うち、10名程度が部分除染を実施)  
→ただし、県外への移動者は316名中、313名。  
・バスについてもスクリーニングを実施したが問題なし。
- 19:15 20~30km圏内での暖房器具の利用に係る換気について、OFC住民班と共有。
- 19:40 福島県佐藤氏に再度連絡。  
本日(19日)のバスは南相馬6台、飯館7台。なお、明日(20日)は、500名(南相馬市)、230名(飯館村)の予定。詳細は追って送る。
- 21:30 現地児嶋課長よりTEL。

プレスで使用した屋内退避の地域で外出する場合の留意点の一枚紙(※1)をHPにUPするよう津川政務官が指示(なお過去に関係省庁で調整した、「屋内退避中の生活について(※2)」も可能であれば積極的にUPして欲しい。

児嶋課長は明日から「ヴィレッジ」に移動。その後の連絡はタテウチ氏へ。

→(※1)についてHPにUP済みを目撃しタテウチ氏へ連絡。政務官より官邸HPにでも載せられないかと要求。官邸HPには「生活について」が掲載予定としていると回答。

→(※1)について、NISA以外のHPには難しそうとのこと(由良班長確認済み)

→(※2)について、危機管理監チェック後HPUP予定。

22:08 NSCより降雨に係る対応についての回答收受。

### 3月20日(日)

- 0:30 県OFCにTEL。現地把握している避難状況について再確認。
- 0:30 小岩井様対応。  
→またTELするとのこと。
- 2:08 生越課長より、20~30km避難の状況、要介護者等の避難の状況、その他について院長に早いうちに説明するよう指示あり。
- 2:30 東北電力に20~30km圏内の停電状況確認。具体的には折り返すとのことだが、屋内退避エリアについても、停電復旧工事は行っているとのこと。NTTにも電話の復旧状況を確認。NTTとしては、20~30km圏内は、交換機のトラブルがない認識している模様。以上を物資調達に係る基礎情報として聞き取り。
- 3:00 ・県に物資の搬送状況について聞き取り。避難所を主に配送している。  
・30km県外の配送は、民間バスによる配送。  
・20~30kmは自衛隊によるもの。ほとんどの避難所が30km以遠及び県外への移動が増えていることから実態を調べるよう班長より依頼。
- 5:22 OFC高田さんに聴取。南相馬と飯館の20~30km圏内のバスと運転手詳細。  
南相馬市：民間のバス・運転手や避難先の自治体の運転手  
飯館村：役場のバス・運転手や避難先の自治体の運転手
- 9:20 県ブース自衛隊ナカムラ氏より、物資の搬送状況を聞き取り。  
・基本的には避難所に配送  
・南相馬市への配送が避難所は20~30km圏内  
・これまでは個人宅への配送実績は無し。  
・以前は広野町(20~30km圏内)にも配送していたが、最近は無し。
- 9:50 兵庫県住宅参事ツネマツ氏よりTEL。  
公営住宅の受入、原発による避難として申告。18日までに受付したものとして、24戸を予定。  
富岡×1戸、浪江×1戸、葛尾×1戸
- 10:30 官邸ホリエにTEL。  
消防庁に避難受入状況の一覧あれば欲しいと依頼してみよう。

- 10:40 県対策本部タテウチさんから TEL。避難安全指針を回答
- 10:45 OFC 住民班タカダさんと連絡。  
「20~30km 圏内の病院等の自主避難状況」の紙にリバイスありとの連絡。また、「3月18日バス移動配置一覧(南相馬)」の19日、20日版が入手できるか確認。なお、残留数について県に確認しているが、行方不明者が数千人以上いる中なので困難そうとのこと。
- 12:00 能村から
- 12:15 原安委より、「雨に濡れた場合の対応の留意点に係る助言等について」回答あり。  
・基本は「保管すること」ではあるが、水道水については現実的に困難(保管が)であることから、「保管すること」とは書いていないとのこと。
- 12:30 仙谷副長官から文科省で指示。  
スクリーニング体制の強化→医療班タマイさんに→官邸佐藤さんに要回答(田辺フオロー)
- 14:20 福島県板内氏から連絡  
「30km 圏内市町村災害対策本部の自主的避難の意向等」について、南相馬3万人、飯館千人は変更している。20km 圏内の搜索を現在自衛隊が実施中。整理しているところである。(←OFC を通じて別途依頼する旨伝えた)  
なお、福島県の施設にいる1,959名について避難実施中。
- 14:57 自主避難状況及び南相馬市のバス配置図を入手について、OFC から FAX 受。
- 18:00 官邸緊急参集チームへ生越班長。  
自主避難の状況など、場合によっては資料を配付→配布せずでツケ(※3)。
- 20:00 石油要望の紙を資源部から入手
- 20:25 宮城県中村さんより TEL [REDACTED]  
官房長官会見(本日夕方)の質疑の中で、宮城県や仙台市が食品分析が出来ていないことについて、「原災法に基づき対処してもらおう」との発言があったが、原災法のどこの条文に基づくのか?
- 20:40 物資支援の想定 OFC から受け取り。官邸金子室長に送付
- 22:00 (18:00の※3) 枝野官房長官用。自主避難支援のネタ。

### 3月21日(月)

- 3:30 雨の留意点→記者会見で発言。  
OFC にも配布を依頼。→対応終了。
- 時間未定 「住民安全班の今後のオペレーション」を作成。
- 3:50 官房長官用メモについて OFC 総括班の忠内さんに確認依頼。
- 4:30 宮城県対応済み(官房長官発言)
- 5:45 山本課長(OFC)に FAX → 回答待ち。
- 6:55 緊急参集チーム用資料(案)を OFC 総括班忠内さんに確認依頼の FAX → を送付。
- 8:40 緊急参集チーム用資料について OFC のクリア